

「高速交通体系シンポジウム～若狭にひかりを2024～」が小浜市で開催されました

11月16日(土)に福井県農業協同組合小浜支店において、北陸新幹線小浜・京都ルートで敦賀－新大阪間の早期全線開業を目指すシンポジウム「高速交通体系シンポジウム～若狭にひかりを2024～」が開催されました。若狭青年会議所が主催し、小浜商工会議所青年部が共催、北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現小浜市民協議会は後援となり、約300人が参加しました。

与党整備委員会委員長の西田昌司参議院議員をはじめ、杉本福井県知事、県議会議員、杉本市長ら嶺南5市町の首長や副首長、嶺南4市町議会議員などを来賓に迎えました。

シンポジウムのオープニングでは、これまでの北陸新幹線小浜・京都ルートの誘致活動を紹介する映像が上映されました。上映後、主催者である若狭青年会議所の水江理事長が挨拶されました。



主催者挨拶後、西田参議院議員にご講演いただき、「小浜－京都ルートの3案を年内に一つに決めるのが最大の使命」と延べられ、年内にルートを絞る考えを示されました。

講演の後には、西田参議院議員、杉本知事、杉本市長によるパネルディスカッションが行われました。杉本知事は「小浜－京都ルートは福井にとってなくてはならないものだ」と述べられ、西田参議院議員は「舞鶴ルートや、米原ルートはありえない。小浜－京都ルート以外、選択肢はない」と述べられました。

最後に、若狭青年会議所専務理事で地元選出県議会議員である松崎県議会議員の発声でガンバロー三唱を行い、一致団結しました。

